※令和４年度以降入学生用

学校番号	406

令和８年度　国際文化科

教科	国際文化	科目	グローバルスタディーズ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・この科目は国際社会で起きている諸問題について学習する科目です。日々のニュースや出来事など、テレビ・インターネット・新聞などのメディアに目を通しておく事が大事です。
・学習方法等は、初回の授業のガイダンスやその都度指示をしますので、毎回の授業にしっかりと出席をして聞いておくようにしてください。

2　学習の到達目標

・国際社会の諸問題を地理・歴史の観点から、テーマごとに学び、基礎的な知識を身につける（知識及び技能）
・さまざまな地域の諸問題に対する理解を深め、多面的な視点から思考する能力を養う（思考力、判断力、表現力等）
・国際社会の諸問題を通して、現代で生きるわれわれが何ができるかを考える。（学びに向かう力、人間性等）

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	各学習単元の諸課題を理解し、その知識を身につけている。	各学習単元の諸課題を見出し、それらを多面的・多角的に考察し、様々な立場から公正に判断をし、学習内容の過程や結果を適切に判断している。	各学習において、積極的に取り組み、授業内においての話を聞く態度や発問への応答ができている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	現代世界の歴史的起源	1.帝国主義の成立と二つの世界大戦 2.冷戦の始まりとアジア・アフリカ 3.多極化の時代へ	a：現代世界の歴史的起源について理解している。 b：現代世界の歴史的起源について考察し、どのようにして現代世界ができたのかを自分の言葉で表現することができる。 c：現代世界の歴史的起源について、積極的に学ぼうとしている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
二学期	アジア・アフリカ・南米諸国の今と日本	1.南米諸国と日本 2.南アフリカと日本 3.中国と日本 4.インドと日本	a：アジア・アフリカ・南米諸国の今と日本について理解している。 b：アジア・アフリカ・南米諸国の今と日本について考察し、日本とそれぞれの国がどのような関係にあのかを自分の言葉で表現することができる。 c：アジア・アフリカ・南米諸国の今と日本について、積極的に学ぼうとしている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出
三学期	国際紛争と日本	1.朝鮮半島問題と日本 2.アフガニスタン平和問題と日本	a：国際紛争と日本について理解している。 b：国際紛争と日本について考察し、日本ができる解決策を自分の言葉で表現することができる。 c:国際紛争と日本について、積極的に学ぼうとしている。	小テスト 定期考査において授業で得た知識が定着しているか。	授業内、定期考査において資料の読み取りや、自分の意見・考えを発表・記入できるか。	準備物 発言 プリント・ノートへの加筆(メモ) プリント・ノート提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度